

平成26年度 次世代地域リーダー塾 第2回 概要

日 時	平成26年11月15日(土) 13:30~16:30
場 所	羽島市文化センター 301会議室
内 容	<p>1. 講師 愛知学泉大学現代マネジメント学部 教授 伊藤雅春 先生</p> <p>2. 講義のテーマ 「地域活動のスキルを学ぶ(実践的な知識・技術の習得)」</p> <p>※住民参加型コミュニティ診断プログラムを用いて、地域課題の把握・分析方法などを学ぶ</p> <p>3. 講義内容</p> <p><u>はじめに</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介と第2回、第3回のプログラムの説明 <p><u>ミニ講義『まちづくり実践から学ぶ地域活動の極意1~5』</u></p> <p>極意1 耕すようにコミュニティを育てる</p> <p>事例：自治会による九品仏アートフェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所のクリエイターに声をかけて開催し、会ったことのない人を結びつけることができた ・昨年より商品の並べ方に工夫が出て盛り上がった <p>極意2 人は話し合うことを求めている</p> <p>事例：豊山町の総合計画を考える町民討議会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2日間の日程で40名以上の町民が参加 ・中学生も参加してくれ、発表がとても上手だった ・楽しかった、という反応がたくさん返ってきた <p>極意3 まちとコミュニケーションする力</p> <p>事例：継続しやすく効果の「見える」防犯パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区を5つのゾーンに分け、パトロール実績をデータ化、情報を共有、分析結果を活用 ・防犯ポスターを掲示板に貼ることで、地域外の人や町内会・自治会に未加入の人に対しても情報発信ができるし、犯罪の抑止につながる ・掲示板を定期的に更新することで多くの方にメッセージが伝わるようにする <p>極意4 地域活動組織で事業に取り組む</p> <p>事例：7つの町内会でコミュニティバスの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを全3回開催し、理想のバスルートや予算を検討 ・市との協働で毎日10便運行している



極意5 コミュニティを診断してみよう 【※グループワーク】

- コミュニティ診断アンケートを記入し、あなたのまちのコミュニティ診断表に転記する

一体感・参加・活力の3項目、9つの質問に対し、5段階で自分のコミュニティを評価します。

例) あなたのコミュニティは人と人のつながりは強いと思いますか？

- コミュニティ診断プログラムを考える

個人によるコミュニティ診断は主観的になりがちであるため、同じコミュニティ(町内会レベル)の方5~6名と一緒にアンケートに取り組んでもらうことを目的に、コミュニティ診断アンケートの趣旨や取り組み方の流れを考えました。

- グループで考えたコミュニティ診断プログラムの発表

グループで考えたプログラムをB紙に記入の上発表をもらい、伊藤先生から指導・助言を頂きました。6グループのプログラム案の中から、参考になりそうなプログラムを各自で記録しました。

例) アンケートの趣旨説明→アンケートの記入→アンケートの回収・集計表の作成→それぞれのアンケート結果の違いについて説明・合意形成→地域の課題の発見

〈伊藤先生によるプログラムのポイント〉

- コミュニティ診断をして何につなげたいか(例:防災対策の話し合いにつなげたい等)を伝えること
- 同じ地域の人同士で診断結果が違った場合は、それぞれがなぜその計画を選んだのかについて意見交換し合意形成をしっかりとすること



--	--

--	--